

事 務 連 絡
平成30年9月18日

各関係機関 御中

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課
精神保健福祉係

研修会のご案内について

平素は本県の精神保健福祉の推進にご協力いただき誠にありがとうございます。
別添のとおり、研修会の開催について案内がありましたのでお知らせいたします。

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課
精神保健福祉係
TEL : 077-528-3548
FAX : 077-528-4853
MAIL:ec0005@pref.shiga.lg.jp

(公印省略)
兵こ第95号
平成30年9月14日

各都道府県・政令指定都市
精神保健福祉担当課長 様

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構
兵庫県こころのケアセンター長

「こころのケア」研修(平成31年1月～2月実施分)の受講生募集について

兵庫県こころのケアセンターの運営につきましては、平素より格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、1月から2月にかけて実施する「こころのケア」研修の受講生を別添のとおり募集いたします。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、関係機関および職員の皆様にご周知いただくとともに、本研修への参加について格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

なお、精神保健福祉センター及び消防・防災・危機管理、児童虐待、DV担当課へは別途募集案内を送付しておりますので、申し添えます。

(お問い合わせ先)

兵庫県こころのケアセンター 研修情報課(担当:長谷川・奥村)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2

TEL 078-200-3010 FAX 078-200-3017

ホームページ <http://www.j-hits.org>

(公印省略)
兵こ第96号
平成30年9月14日

関係各位

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
兵庫県こころのケアセンター長

「こころのケア」シンポジウムの参加者募集について

兵庫県こころのケアセンターの運営につきましては、平素より格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、標記のシンポジウムを開催することとなりました。

つきましては、お忙しいところ恐縮ですが、多くの皆様にご参加いただきたく、別添のとおりご案内申し上げます。

(問い合わせ先)

兵庫県こころのケアセンター 研修情報課 (担当:長谷川・奥村)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2

TEL 078-200-3010

FAX 078-200-3017

平成30年度第2期兵庫県こころのケアセンター「こころのケア」研修受講申込書

平成 年 月 日

- 1 受講を希望される研修コースの「申込欄」に○印を付けてください。
- 2 1枚の申込書で複数のコースに申し込むことができます。受講を希望されるすべてのコースの「申込欄」に○印を付けてください。
- 3 「受講の履歴」も記入してください。

区分	コース名	申込欄	受講履歴
専門 研修	① 対人支援職のためのセルフケア (1月10日～11日)		有(H 年度)・無
	② 消防職員のための惨事ストレスの理解と予防 (1月16日～17日)		有(H 年度)・無
	③ 発達障害とトラウマ (1月31日)		有(H 年度)・無
	④ 子ども達のいじめのケアー加害と被害の連鎖ー (2月14日)		有(H 年度)・無

(フリガナ) 氏名	()	年齢	歳
		性別	男・女
職業(職種・資格)	()		
勤務先	・名称 _____ ・所在地 〒 _____ ・TEL () _____ ・FAX () _____ ・Eメール _____		
連絡先 ※勤務先と同じ場合は、記入不要です。	・住所 〒 _____ ・TEL () _____ ・FAX () _____ ・Eメール _____		

- 注1) 記載いただきました個人情報、研修実施に係る目的以外には使用しません。台風等で研修を開催できない場合に、ご連絡することがあります。
- 2) 職業(職種・資格)欄は必ず記載してください。
 - 3) この研修は現在対象となる職務に就いている方を対象としています。

(申し込み及び問い合わせ先)
 兵庫県こころのケアセンター 研修情報課
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3-2
 TEL: 078-200-3010 FAX: 078-200-3017
 Eメール: kensyu@j-hits.org

「こころのケア」シンポジウム 参加者募集

兵庫県こころのケアセンターでは、「こころのケア」に関する多様な機能を有する拠点施設として、様々な取り組みを進めています。

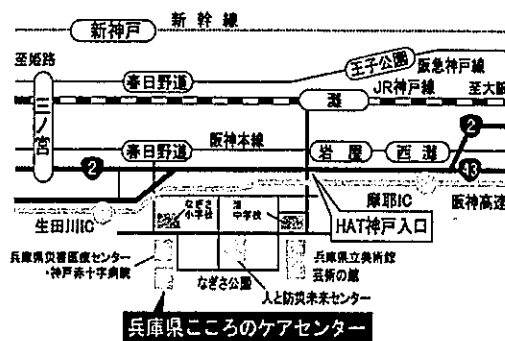
このたび、以下のとおりシンポジウムを開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

と き	平成30年10月31日(水) 13:30~16:30 (12:30受付開始)
場 所	兵庫県こころのケアセンター
定 員	150人 入場無料
プログラム	

- ◆13:30~13:35 開会・挨拶
- ◆13:35~14:30 兵庫県こころのケアセンター研究報告
「災害救援組織における惨事ストレスとメンタルヘルス対策のこれまでとこれから」
大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター研究主幹
- ◆14:45~16:30 講演
「虐待の社会的コスト」
和田 一郎 花園大学社会福祉学部児童福祉学科准教授
- ◆16:30 閉会

申し込み方法等

「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、郵送・FAXにより、下記までお申し込みください。Eメールでも申し込み可能です。
 ※先着順で受け付け、定員になり次第、締め切らせていただきます。
 ※入場券等の発行は致しません。申込者多数により入場出来ない場合のみご連絡を申し上げます。
 ※聴覚障害者の方で手話通訳、要約筆記、磁気ループの配置を希望される方は、参加申込書の所定の欄に○をつけ、10月17日(水)までにお申し込みください。



申し込み・問い合わせ先

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
 兵庫県こころのケアセンター 研修情報課
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番2号
 電話 078-200-3010 FAX 078-200-3017
 Eメール: kensyu@j-hits.org

- 阪神電鉄「春日野道」駅から南へ徒歩約8分
- 阪急電鉄「春日野道」駅から南へ徒歩約16分
- JR神戸線「灘」駅から南西へ徒歩約25分

※お車でのご来場はご遠慮ください。

主催 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 / 共催 兵庫県
後援 神戸新聞社

※点線で切り取って郵送してください。FAXの場合はそのまま送信してください。Eメールの方は件名を「シンポジウム申し込み」とし、下記の事項を明記して送信してください。(FAX:078-200-3017 Eメール:kensyu@j-hits.org)

「こころのケア」シンポジウム 参加申込書

(フリガナ) お名前	()		
ご勤務先等			職 種
ご連絡先住所	※ 勤務先等 ・ 自宅 (いずれかに○印をつけてください。)		
電 話	() -	FAX	() -
Eメール			
配慮希望の有無	手話通訳	要約筆記	磁気ループ
左の配慮を希望される方は○をつけてください。			

※台風等でシンポジウムを開催できない場合に、ご連絡することがあります。

申し込み方法等

- ・別添の受講申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX又はEメールで申し込みください。
- ・各研修開始日の1か月前（前月の同じ日）の17時を期限として、申込者多数の場合は、初めて受講の方を優先の上、抽選で受講者を決定します。受講の可否については、研修開始日の3週間前を目処にお知らせいたします。（受講申し込みの状況によっては、上記期限後も申し込みをお受けすることもありません。）
- ・申し込み可能かどうかは、電話・Eメール等でお尋ねください。
- ・電話での申し込みはできません。

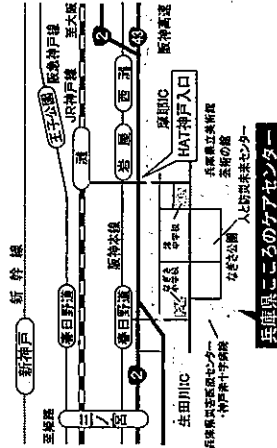
申し込み及び問い合わせ先

兵庫県こころのケアセンター 研修情報課
〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目3-2
TEL: 078-200-3010 FAX: 078-200-3017
Eメール: kensyu@j-hits.org

その他

- ・「内容」等については、都合により一部変更となる場合があります。
- ・この研修は、現在対象となる職種に就いている方を対象としています。
- ・学生は対象とはなりません。（関連領域の大学院生を除く。）
- ・受講料（資料代等）は受講決定通知とともに送付する振込用紙にてお支払いください。振込手数料は申し込みをされた方にてご負担願います。
- ・受講料振り込み後にキャンセルされる場合は、研修開始日の1週間前までに限り、既に払い込まれた受講料を返金します。なお、返金に係る振込手数料は、キャンセルを申し出た方のご負担とさせていただきます。
- ・本センターには、宿泊室（1泊3,600円：食事無、トイレ・シャワー・テレビ共同）を設けています。遠隔地等から受講される方で、利用を希望される場合は、お問い合わせください。
- ・台風等で研修を開催できない場合は、当日の朝までにホームページに掲載しますので、ご覧ください。
- ・この「募集案内」については、本センターのホームページ (<http://www.j-hits.org>) でもご覧いただけます。

会場案内図



※お車でのご来所はご遠慮ください。

平成30年度兵庫県こころのケアセンター「こころのケア」研修
第2期受講生募集のご案内

兵庫県こころのケアセンターは、トラウマやPTSD等の「こころのケア」に関する研究や研修等を行う拠点施設です。

本センターでは、「こころのケア」に携わる保健・医療・福祉・教育等の分野で活動されている方を対象に、各種課題への対処法等について学ぶ「こころのケア」研修を実施しています。このたび、平成31年1月から2月にかけて実施する研修の受講生を下記のとおり募集します。

記

【第2期（1月～2月）実施分】

区分	コース名	期間	定員	対象	受講料 (資料費)	会場
専門研修	①対人支援職のためのセルフケア	1月10日(木) 11日(金) (2日間)	35名	保健・医療・福祉関係の 対人支援業務従事者(保健師、ケアワーカー、 各種相談員、福祉施設指導員等)、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等	3,500円	兵庫県こころのケアセンター (神戸市中央区臨浜海岸通1-3-2)
	②消防職員のための惨事ストレスの理解と予防	1月16日(水) 1月17日(木) (2日間)	35名	消防職員	3,500円	兵直県こころのケアセンター (神戸市中央区臨浜海岸通1-3-2)
	③発達障害とトラウマ	1月31日(木)	35名	子ども家庭センター(児童相談所)職員、福祉事務所職員等児童虐待関係職員、保健所職員、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等	2,500円	兵直県こころのケアセンター (春日野道)駅から徒歩約8分
	④子ども達のいじめのケア—加害と被害の連鎖—	2月14日(木)	35名	教職員、スクールカウンセラー、教育委員会職員、子ども家庭センター(児童相談所)職員、いじめ相談窓口の相談員、保育職員、児童福祉施設職員、司法関係職員	2,500円	兵直県こころのケアセンター (春日野道)駅から徒歩約8分

※「研修内容」については次頁を、「申し込み方法」等については、裏面をご覧ください。

研修内容

〈専門研修〉

【①対人支援職のためのセルフケア】

日程	1月10日(木) 10:30~17:00 1月11日(金) 9:50~16:15	受講料(資料代等)	3,500円
内容	対人支援業務によって生じる自らのストレスを理解し、その対処法を習得します。 ・ストレスとは(福井貴子主任研究員<臨床心理士>) ・ストレスマネジメント(鈴木逸子主任研究員<臨床心理士>) ・二次受傷とは(大澤智子研究主幹<臨床心理士>) ・演習(大澤智子研究主幹)等		
定員・対象	35名:保健・医療・福祉関係の対人支援業務従事者(保健師、ケースワーカー、各種相談員、福祉施設指導員等)、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等		

【②消防職員のための修理事ストレスの理解と予防】

日程	1月16日(水) 10:30~17:00 17日(木) 9:50~16:15	受講料(資料代等)	3,500円
内容	大規模災害時等、極めて悲惨な現場において活動したことにより生じる修理事ストレスに対する理解を深めます。 ・修理事ストレスとは(加藤寛センター長<医師>) ・事例検討(神戸市垂水消防署: 藪浦大作副署長) ・ストレスマネジメント(大澤智子研究主幹<臨床心理士>) ・コミュニケーションの基礎(大澤智子研究主幹)等 ・演習(大澤智子研究主幹)等		
定員・対象	35名: 消防職員		
備考	受講の申込みは各消防局・消防本部にて取りまわりの上、お申し込みください。		

【③発達障害とトラウマ】

日程	1月31日(木) 10:30~17:00	受講料(資料代等)	2,500円
内容	発達障害とトラウマへの理解を深めます。 ・発達障害とトラウマをめぐる諸問題(亀岡智美副センター長<医師>) ・成人期の発達障害とトラウマ(かく・にしかわ診療所: 西川瑞穂院長) ・学童期の発達障害とトラウマ(大阪大学大学院: 酒井佐枝子准教授)等		
定員・対象	35名: ことば家庭センター(児童相談所)職員、福祉事務所職員等児童虐待関係職員、保健所職員、教職員、スクールカウンセラー、保育職員等		

【④子ども達のいじめのケアー加害と被害の連鎖ー】

日程	2月14日(木) 10:15~16:45	受講料(資料代等)	2,500円
内容	子ども達のいじめによるこのころのケアに関する対処法等について理解を深めます。 ・いじめの基本概念(大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所: 和久田学特任講師) ・いじめや問題行動による被害ー加害の理解と支援(大阪大学大学院: 野坂祐子准教授) ・ワーク「被害ー加害の連鎖をとめる心理教育とアタクティブイ」(鈴木逸子主任研究員<臨床心理士>)等		
定員・対象	35名: 教職員、スクールカウンセラー、教育委員会職員、ことば家庭センター(児童相談所)職員、いじめ相談窓口の相談員、保育職員、児童福祉施設職員、司法関係職員		